

# 新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は支部役員並びに会員の皆様には当協会活動に何かとご協力を賜り誠に有難うございました。

新しい年を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は我々道路業界を取り巻く環境が激変したと言っても過言ではないと思います。デフレからの脱却と経済再生を旗印に、いわゆる「アベノミクスの三本の矢」が昨年6月に閣議決定されました。その先行とし15カ月予算が執行され、4月に入り、矢継ぎ早に、我々の身近な「公共労務設計単価」が2桁パーセントの引き上げがなされ、調査基準価格の見直しも行われました。また身近なところでは紀勢線開通と伊勢神宮で20年に一度の式年遷宮の年に当たり、三重県も賑やかな年となりました。

本年につきまして当協会は、昨年同様明日の道路建設業界を担う人材の確保、更には労働環境改善を喫緊の課題として捉え活動してまいります。また当支部につきましては各種「意見交換」等を活発に行い、入札・技術・安全等の更なる改善・提案を会員皆様と手を携えて図ってまいりたいと考えております。

今年は干支で「甲午」(きのえうま)の年、さて60年前「1954年の甲午」はどんな年だったか? 映画「ゴジラ」が放映され、ドラゴンズが初のセリーグ優勝の年でした。今年は……いずれにしても良い年にしたいものです。

結びに会員各社のご隆盛と会員皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



支部長  
川端 清太  
一般社団法人日本道路建設業協会 中部支部



2014年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は(一社)日本道路建設業協会支部会員の皆様には、当支部の事業活動に対しまして多大なご支援、ご協力をいただき心より厚く御礼申し上げます。

昨年前半には第二次安倍内閣が発足し、物価上昇率2%を目標にデフレの脱却・公共事業費の拡大に依って建設業界に大きな追い風となりました。

また、2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催決定や2027年開業を目指しているリニア中央新幹線の建設等の大きなプロジェクトも決定し、日本経済の転機になると期待されております。

我々の地元東海地区においても想定される、南海トラフ巨大地震に備え道路インフラの拡充を中心とした整備が急務となっております。

しかしながら、グローバル化が進んだ今日の経済活動に於いて、アメリカ経済の上昇効果や中国経済の不透明感、隣国韓国や中国との領土問題、福島第一原発の汚染水問題など様々な問題があります。

本年度4月より消費税率が8%の税添加となり、経済活動の縮小が懸念される中、上昇傾向となっている民間設備投資への影響も心配されるところです。

会員皆様方と共に、道路建設業界が社会資本整備に貢献出来る、誇りある存在であるために更に知恵を出し、汗を流して前進していきたいと思っております。

最後に、皆様方のご健勝と各社のご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

幹事長  
寺林 裕二  
一般社団法人日本道路建設業協会 中部支部

